

挑戦の先に広がる新たな世界

和菓子工房「小立神」

石井洋子さん（八神）

高校から町外で暮らし、県職員を退職後、ご両親の介護のために飯南町で過ごす日が増えた石井さん。住んでみて魅了された田舎暮らしをするためUターン。今では和菓子作り、農業委員会、草刈りが日々の仕事となっています。



趣味の和菓子で地域貢献

楽しいことをしたいと思っていた頃に和菓子とめぐり合いました。和菓子作りは心にゆとりがないとできない。絵を描くのと同じです。一つひとつが芸術作品なので、調子がいい時でないといいい和菓子ができないんです。

これで生活しようと思ったわけではなくて趣味なんです。地元の人のためにできることの一つ。有償ボランティアだと思いついてやっています。

山の中の古民家を使って、一人で住んで好きなことをしている…、趣味で人に喜んでもらえて嬉しいです。

コロナをきっかけに世界が広がる

和菓子作り体験へのコロナ禍の影響は大きかったです。体験ができなくなったら、和菓子の販売をしたいと思いました。周りの人から「営業許可を取るの難しいよ」と言われることもありましたが、保健所に相談したら、条件が緩和されていたため、とても簡単に、お金もそんなにかけずに許可を取ることができました。

その後「ぶなの里」という新しい茶屋に出すようになって、そこで買った人から注文が入るようになりました。お土産やお茶うけとしてだけでなく、結婚式、法事、お祭りの際にご利用いただいています。「和菓子屋は敷居が高いけど、石井さんなら言いやすいし、いろんなリクエストに対応してくれる」と喜ばれています。リピーターさんも多いんです。近くで和菓子を買える、和菓子の文化にふれられるっていいと思いませんか。

農業委員5年生

担い手不足以前の問題があるなど感じています。農地を相続したくないという人が多い。農地を売ってほしいと言われるけど、買手がなかなかいないし、耕作する人を見つけないのも大変です。地元の人を知っている相続の第一世代ならまだいいですが、お会いしたこともない所有者の農地を守り続けるのはとても難しいと感じています。解決策はみつかっていますが、相談者に寄り添っていききたいと思っています。



和菓子づくり体験

今月の表紙写真



Uターンしてから始めたスマホで、好きな時に好きな映画やテレビ番組を観ているという石井さん。ライン、フェイスブック、インスタグラムなどのSNSも活用されています。買い物や銀行振り込みもスマホです。山の中の古民家でいろいろな人やモノと繋がりが続ける石井さんの世界は、まだまだ広がります。<撮影は晩秋>

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190

議会広報常任委員会

委員長：戸谷 ひとみ 副委員長：平石 玲児 委員：伊藤 好晴 高橋 英次 安部 誠也 安部 丘

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867